

第11章 各主体の協働による環境保全の推進

第1節 環境教育の推進【環境再生課、義務教育課、県立学校教育課、生涯学習振興課、自然保護課】

1 沖縄県環境教育等推進行動計画の策定について【環境再生課】

県では、平成18年3月に環境教育の基本的な方向性をまとめた「沖縄県環境教育推進方針」を策定し、各種施策を展開してきましたが、複雑化する環境問題に効果的に対処するためには、横断的な環境教育や環境保全活動を体系的に推進することが重要となっています。このため、平成26年6月に、環境教育等促進法第8条に基づき、本県の環境教育に関する施策を総合的にまとめた「沖縄県環境教育等推進行動計画」を策定するとともに、同計画で掲げた各施策の着実な実施と進行管理等を行うため、環境・教育行政関係者、学識経験者、民間団体、県民代表等から構成する沖縄県環境教育等推進行動計画推進協議会を設置し、横断的かつ効果的に各種施策を展開しています。

そして、令和5年3月には、これまでの取組を評価するとともに、県内の環境教育の現状と課題等を踏まえ、「第2次沖縄県環境教育等推進行動計画」を策定しました。

本計画では、「沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島」の実現を目指し、3つの目標を掲げています。

- ・環境問題に気づき、学習し、主体的な判断ができる人が育つ
- ・環境問題の解決に向けて自ら進んで取り組む実践的な人や組織が育つ
- ・環境保全活動の輪が広がり、環境のもたらす恵みを次世代に引き継ぐ

2 学校等における環境教育の推進【環境再生課、教育庁義務教育課、教育庁県立学校教育課】

(1) 沖縄県環境教育プログラム【環境再生課】

本県の豊かな自然環境を保全し、次世代に継承するためには、環境教育を学校教育に取り入れ、実践することが重要とされています。そこで、県では学校現場等における環境教育・環境学習の実践に役立つ教材として、地域の環境特性や児童生徒の発達に応じて活用できる体験型プログラム『沖縄県環境教育プログラム（学校教育編）（社会教育編）－令和元年度版－』を作成しました。

そして、学校や地域における学習会や観察会等での同プログラムの活用を支援することで、環境教育の充実に取り組んでいます。



第11章 各主体の協働による環境保全の推進

(2) 環境教育研究推進校の指定【教育庁県立学校教育課】

児童生徒に環境問題について関心を持たせ、環境問題の解決に向けて主体的に関わろうとする態度の育成を図ることを目的として、県教育委員会において、平成4年度から環境教育研究推進校としてこれまでに23校（高等学校16校）を指定してきました。

(3) 学校現場における指導者の育成【教育庁義務教育課、教育庁県立学校教育課】

県立総合教育センターにおいて、小・中・高・特別支援学校教員を対象にした環境学習指導講座を実施し、環境教育に関する指導内容、指導方法等の研修を行い、その資質を高めるとともに、「学校教育における指導の努力点」を示し、各学校における環境教育の一層の充実を図っています。

3 こどもエコクラブ活動の支援【環境再生課】

こどもエコクラブ事業は、環境省の事業として平成7年度から始まり、地方自治体や企業などの協力を得て、次世代を担う子供たちに、地域の中で楽しみながら主体的に環境活動や環境学習を行う機会を提供し、支援していくことを目的としています。3歳幼児～高校生の子どもとそれを応援するサポーターで結成されます。平成23年度からは公益財団法人日本環境協会が全国事務局を担い、県や市町村が地域事務局となり、環境保全活動を支援しています。

表 11-1-1 こどもエコクラブ登録状況

令和7年3月現在

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
クラブ数	18	16	10	15	14	12	14
会員数	582	611	257	294	167	144	187

表11-1-2 こどもエコクラブ県内事務局

令和7年3月現在

自治体名	部課名	電話番号	郵便番号	住所
沖縄県	沖縄県地域環境センター (公益財団法人沖縄こども もの国)	098-933-4190	904-0021	沖縄市胡屋 5-7-1
那覇市	環境部環境保全課	098-951-3229	900-8585	那覇市泉崎 1-1-1 本庁舎 7F
浦添市	市民部環境保全課	098-876-1234 (3221)	901-2501	浦添市安波茶 1-1-1
沖縄市	市民部環境課	098-938-1516	904-8501	沖縄市仲宗根町 26-1
宮古島市	環境衛生局環境保全課	0980-79-7810	906-8501	宮古島市平良字西里 1140
金武町	住民生活課	098-968-2460	904-1292	金武町金武 1
与那原町	生活環境安全課	098-945-4688	901-1392	与那原町字上与那原 16
南風原町	はえばるエコセンター	098-889-4425	901-1195	南風原町字兼城 686 南風原町役場住民環境課内
八重瀬町	住民環境課	098-998-8203	901-0492	八重瀬町字東風平 1188
竹富町	自然観光課	0980-83-1306	907-8503	石垣市美崎町 11-1

本県では、各エコクラブ活動に対して環境保全に関する情報の提供や助言等の支援を行っています。本県のエコクラブの活動は、全国的にも評価され、これまでに全国のこどもエコクラブ会員との交流を目的としたイベント「こどもエコクラブ全国フェスティバル」で各種の賞を受賞しています。

【表彰状況】

- こどもエコクラブ全国フェスティバル2025
こどもエコクラブ賞 ECOHONU (エコホヌ) (南城市)
- こどもエコクラブ全国フェスティバル2023
文部科学大臣賞 ECOHONU (エコホヌ) (南城市)
- こどもエコクラブ全国フェスティバル2020
こくみん共催c o o p賞 西表ヤマネコクラブ (竹富町)
- こどもエコクラブ全国フェスティバル2016
文部科学大臣賞 西表ヤマネコクラブ (竹富町)
- こどもエコクラブ全国フェスティバル2014
こどもエコクラブ大賞 西表ヤマネコクラブ (竹富町)

第11章 各主体の協働による環境保全の推進

4 地域における体験学習の推進【生涯学習振興課、自然保護課】

(1) 青少年教育施設における体験学習の実施【生涯学習振興課】

各地域の青少年の家において、「ホテル観察会」、「野鳥観察会」、「葉っぱスタンプエコバッグ作り」、「自然観察登山」、「ナゴランを育てよう」、など、環境問題に関連した体験活動型の事業を実施することで、本県の豊かな自然と伝統文化に関心を持ち、環境保全について考える場を提供しています。

(2) 保全利用協定制度の推進【自然保護課】

自然環境の保全と持続的な利用を目的として、利用するフィールドごとに、環境保全型自然体験活動（いわゆるエコツアー）を営む事業者間で策定したルールを沖縄振興特別措置法に基づき知事が認定する「保全利用協定制度」を推進しています。

※「保全利用協定の認定状況」は、第9章第2節に掲載

第2節 普及啓発活動の推進【環境再生課、環境政策課】

1 環境月間関連行事の実施【環境再生課】

県では、毎年6月の環境月間において、県民、企業、民間団体、行政の参加と協力のもと、持続可能な社会の構築に向けた県民一人ひとりの意識高揚と実践を促進するとともに、環境保全活動のすそ野を拡げていくため、環境保全活動の普及、啓発に関する各種行事等を実施しています。

表 11-2-1 県主催の主な行事等（令和6年度）

行事名	内容	実施日及び場所
1 街頭キャンペーン	県内の商業施設において、環境月間の意義を周知するため、チラシや苗木の配布、パネル展示を行った。	6/1 サンエー那覇メインプレイス店 2F オープンモール等
2 新聞・ラジオ等による広報	新聞、ラジオ及びSNSを通して、環境月間の意義等を周知し、環境保全に対する意識の高揚を図った。	6/1～6/30
3 環境パネル展	環境保全に関するパネルの展示を行い、環境保全に対する県民の意識の高揚を図った。	6/3～6/28 県庁1階県民ホール
4 広報活動・パネル展	ごみ減量・リサイクル推進に関する周知を各メディア（テレビ、ラジオ、広報誌等）、県HPをとおして行うとともに、パネル展を開催して環境保全に対する県民の意識の高揚を図った。	6/3～6/7 県庁1階県民ホール 6/12～6/24 県立図書館 6月 各種広報媒体
5 不法投棄等防止 県下一斉パトロール	県及び警察本部等の関係機関が一斉にパトロールを実施することにより、廃棄物の不法投棄及び不適正処理の防止を図った。	5/30～6/6 県内一円

6 OCCN ビーチクリーン 2024	県内全域の海岸でクリーンアップ（清掃）活動を行うことにより、ポイ捨て防止、海洋環境保全思想の普及啓発を図った。	通年実施 県内全域の海岸
7 最終処分場等総点検	県内の産業廃棄物最終処分場及び焼却施設の総点検を実施することで、産業廃棄物の適正処理及び安全管理を推進した。	5月～12月 県内一円
8 工場、事業所立入検査	①第一種フロン類重点回収業者等の立ち入り検査を実施することにより、フロン類の適正な回収の確保を図った。 ②特定事業場への立入検査を行い、水質汚濁の防止と適正化を図った。	通年

2 沖縄県環境保全功労者表彰の実施【環境政策課】

県では、環境保全に関し特に顕著な功績のあった個人や団体を対象として、沖縄県環境保全功労者表彰を実施しています。令和6年度の受賞者は下記のとおりです。

表 11-2-2 令和6年度受賞者

(2個人)

No.	分野	細分野	受賞者の氏名及び名称
1	環境保全	環境保全行政の推進	立原 一憲
2	環境保全	環境保全行政の推進	渡嘉敷 義浩

3 沖縄県地域環境センターの管理・運営【環境再生課】

県では、本県の環境教育及び情報発信の拠点として、沖縄県地域環境センター（場所：公益財団法人沖縄こどもの国園内）を設置しています。同センターでは、出前講座や自然観察会、啓発イベントの開催のほか、ホームページを活用した環境情報の提供、図書・資料・ビデオ等の閲覧や貸出、環境学習に関する県民等からの照会への対応、勉強会や総合学習に対するサポート等の様々な環境保全啓発活動を実施しています。令和6年度のセンター来館者数は3,021人、地域や学校等における環境保全啓発活動の参加者数(延べ)は6,803人(啓発活動回数97回)となっています。活動地域は県内全域を対象としており、令和6年度は本島内87回、離島（伊平屋村、伊是名村、久米島町、石垣市、宮古島市、竹富町）で10回実施しました。

表 11-2-3 沖縄県地域環境センターの活動状況（H30～R6年度）

	H30	H31(R1)	R2	R3	R4	R5	R6
環境保全啓発活動回数	61	74	65	79	122	81	97
環境保全啓発活動参加者延べ人数	5,914	7,951	3,011	4,168	6,506	4,304	6,803
沖縄県地域環境センター年間利用者数	4,165	4,215	2,930	2,239	3,510	3,722	3,021

第3節 行政の自主的な環境保全活動の推進【環境再生課】

1 沖縄県環境保全率先実行計画の推進

県自らが一事業者、一消費者としてあらゆる事務事業において環境へ配慮した行動を率先して実行するため、平成11年6月に「沖縄県環境保全率先実行計画」を策定し、エコオフィス活動の推進に取り組んでいます。

(1) 計画期間：第1期 平成11～14年度（基準年度は平成10年度）

第2期 平成15～18年度（基準年度は平成13年度）

第3期 平成19～22年度（基準年度は平成12年度）

第4期 平成23～令和2年度（基準年度は平成21年度）

第5期 令和3～12年度（基準年度は令和元年度）

(2) 対象範囲：県の全機関

(3) 計画の目標（第5期）

- ① 温室効果ガス削減等の推進：温室効果ガスの排出量 基準年度比 25%削減、
- ② グリーン購入の推進：環境物品調達率 紙類97%以上、紙類以外95%以上
- ③ 省資源の推進：上水の使用量基準年度比 10%削減、紙類の使用量 基準年度比 30%削減
- ④ 廃棄物の減量化、リサイクルの推進：廃棄物排出量 基準年度比 10%削減、リサイクル率 40%以上

令和3年度のISO14001の認証終了に伴い、これまで本庁舎を対象にISOで実施してきた機能を維持・拡大するため、令和4年度から沖縄県環境保全率先実行計画に基づく上記①～④に「環境法令順守に関する点検評価機能」を新たに加え、全庁組織を対象に運用を行っています。

また、令和7年3月に、削減目標の達成に向けた取組の個別目標を位置付ける等の一部改定を行いました。